



新年明けまして おめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのことと存じます。
日理工通信 11号（新春号）をお届けします。本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となる
ことをお祈り申し上げます。

1

業界団体の先生からのご挨拶



公益社団法人 日本鍼灸師会代表理事 中村 聡先生

明けましておめでとうございます。日本理学療法器材工業会の皆様には全国大会等にて
毎回出展頂き、厚く御礼申し上げます。

2020年初頭から拡大した新型コロナウイルス感染症や、大規模な自然災害などをきっかけ
に、世の中は大きく変化し、ビジネス環境も変革が必要と強く感じます。あはき柔整業界も業
種の枠を越えて共に変化する社会の課題に向けて、社会貢献をしていくことが求められます。

コロナ禍を経て、健康維持増進は不可欠であり、健康志向の拡大、健康意識が高まっている
社会となってきています。

あはき師柔整師の仕事が予防やメンテナンスの手段としてクローズアップされる可能性が大いに
あると考えています。また、高齢社会では、慢性的な痛みや加齢に伴う健康問題が増加して
います。これらの症状の緩和や改善に寄与する優しい医療であると私は考えています。私
たちが地域で真に役立つ存在となるためには、製造販売流通の関連業者の方々、学
会、教育機関、業団が社会のニーズに対応できるよう連携が不可欠です。

Well-being、個人や社会のよい状態を目指し。健康維持や慢性的な痛みの緩和をサポートする
私たちに、時代の求めに応じた高品質で安心して使える機器、器材を継続的に提供して
頂けることに感謝しております。

鍼灸部会長より新年ご挨拶



鍼灸部会長
株式会社日本特殊医科
顧問 松本 修

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、心新たに精進し、会員、業界のために何ができるか考えさせられます。まず
は自分自身の改革。人として社会に貢献できる自分を精進していかなければ、何も与えること
ができません。今年も精進。精進を心掛け微力ながら貢献できるよう頑張ります。

1.「自浄努力」

人として社会に貢献できる自分を精進していかなければ、何も与えることができません。
今年も精進。精進を心がけ微力ながら社会に貢献できますよう頑張ります。

2.「共生」共に生きる

日本社会は地域社会を原点として、共に支えあい国家を形成してしまいました。

日理工、業界各団体も同じく、会員の公助共生の絆で成り立っています。同じ考えに力が発揮され
ると考えます。組織を良くしていくかは、個々の思いが、共生していく心掛けが同じかどうか、
問われると私は思います。

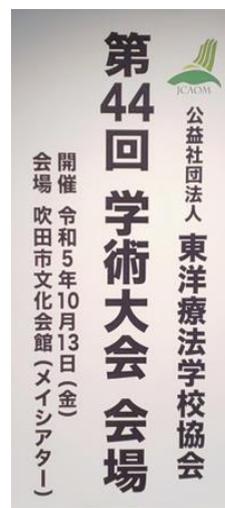
今年も、皆様と共に、共生の精神、共に努力し、喜びを分かち合ひましょう。

学会付設展示・部会活動報告

第44回(公社)東洋療法学校協会学術大会(吹田市文化会館メイシアター)開催

テーマ:「イマジネーションを広げよう! 鍼灸とICT・DX、その先で」

会期: 2023/10/13(金) 学生来場者数 1,170名 出展企業 9社(9コマ)



2

第18回(公社)日本鍼灸師会全国大会 in 近畿(スターゲイトホテル関西)開催

テーマ:「わが街、はり・きゅうのある暮らし ~バック・トゥ・ザ・鍼灸~」

会期: 2023/10/21(土)~10/22(日)

来場者数 350名 出展企業 18社(21コマ)+学会出展(18コマ) 合計 39コマ



第32回(一社)日本柔道整復接骨医学会学術大会(名城大学天白キャンパス 4F・6F 展示会場 6F)

テーマ: 臨床と学術の融合 ~Head, Neck & Trunk ver.~

会期: 2023/12/2(土)~12/3(日) 来場者登録数 500名超え 出展企業 11社(13コマ)



鍼灸師会の先生方と交流会「鹿の解剖実習」報告



日時：2023/11/4(土)～11/5(日) 参加者：20名

場所：三重県美杉村 瀧本一様宅（三重県鍼灸師会所属）

鍼灸師ご家族と鍼灸学生が山に集い、前夜祭と解剖実習に参加されました。

瀧本先生の解説と指導のもと、皆さん熱心に解剖実習を受講されていました。

前夜祭には、日本鍼灸師会元会長の仲野先生と奈良県鍼灸師会の志野先生

を招いて懇親会が執り行われました。 鍼灸部会 松本 修



3

業界ニュース

【2023年11月19日放送】EテレNHK『チョイス@病気になったとき 鍼灸のチカラ』

日理工事務局から 鍼灸のチカラ NHK 番組放送のご紹介。明治国際医療大学の教授伊藤和憲先生がスタジオ解説、日本鍼灸理療専門学校 菊池友和先生による実技・セルフケアの紹介がされました。特に「片頭痛は薬を飲みすぎるとかえって痛みがとれない悪循環になる」鍼灸治療により薬を飲む量を減らすことができ、治ってからも鍼灸院に月一回通われる方の紹介もされていました。身体になにか不調があった時、一つの選択肢に鍼灸治療が入るといいなと考えます。今後、波及効果で治療院に問い合わせ、受診が増えればよいと思いました。 日理工事務局 梁島由紀子

募集！！

広報委員会では会員の皆様からの投稿を募集しております。業界に関すること、商品に関すること、会社に関すること等お気軽にご連絡下さい。また、日理工通信にどのような内容の記事を掲載してほしいかのご意見もお待ちしております。ご連絡は事務局までお願いします。

日理工通信第11号 ◎発行元：日本理学療法器材工業会 ◎発行日：2024年1月12日

◎発行責任者：広報委員長 中川 善貴

◎広報委員：広報副委員長 馬場 博・川本 謙司・松尾 知美、事務局 梁島 由紀子

◎事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷 3-13-3 三富ビル4階

TEL：03-3811-8200 FAX：03-3813-7011

E-mail：nichiriko@nichiriko.com HP：<http://www.nichiriko.com/>

*ここに掲載している 記事の無断複写・転載を禁じます。